

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

デザインの力で世界にHAPPYの循環を作り出し、社会に貢献する

売上高
145億円売上高営業利益率
9%時価総額
150億円

② 中長期の経営戦略

1. 3つのプロジェクト分類

レギュラー（受注型）、プロポーザル（先行投資型）、リーディング（競技型）の相互作用で収益化と価値創造を両立

3. 研究所による価値創造

山下泰樹建築デザイン研究所の活動で新しいデザイン実現と事業拡大を推進

2. デザイン領域の拡大

ディスプレイ、インテリア、建築、プロダクト、企業ブランディングから都市全体まで分野横断的に展開

4. プロポーザル事業推進

横浜ティンバーワーク（2025年開業予定）やビルリデザインなど先行投資型事業を展開

③ 対処すべき課題

① 優秀な人材の確保育成

- ・新しい価値創出を実現する人材の中長期的確保が必須
- ・事業領域拡張に向けた異なるスキル人材の確保必要
- ・オフィス環境整備、勤務体制、従業員サポート等で人的資本充実

② 業務実施体制の高度化

- ・領域・規模拡大に対応した組織体制更新が必要
- ・3Dデザイン領域の機能拡充（海外専門子会社設立等）進行中
- ・ITを含む業務インフラ整備への継続的取り組み

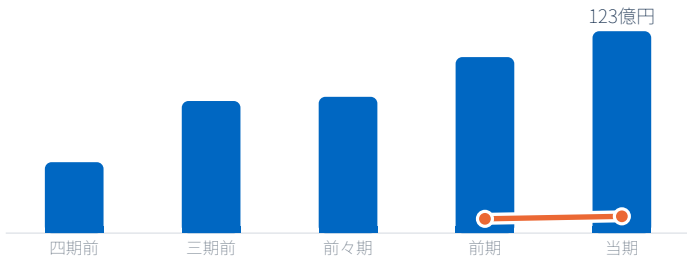
③ 内部管理体制の拡充

- ・成長ステージに見合った管理機能とコンプライアンス精神の醸成必須
- ・2024年12月期からリスク管理担当代表取締役を新たに選定
- ・管理部門充実やITインフラ整備を継続実施

面接で使えるポイント

- ・デザイン関連市場は2028年に262兆円まで拡大予想される成長分野で…
- ・直接的な競合会社がない独自ビジネスモデルで、ディスプレイ、インテリア、建築、プロダクト…
- ・山下泰樹建築デザイン研究所による新しいデザイン創出と、レギュラー→プロポーザル→リーディングプロジェクトの好循環で…

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
123億円営業利益率
8.3%財務健康度
68点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 52.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
656万円平均年齢
31.8歳平均勤続
3.9年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

